

令和6年度 学習分析事業 課題改善シート 三原市立幸崎中学校

【別紙1】

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均

	国語	社会	数学	理科	英語	全体	
1年	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	/	/	
	本年度結果 偏差値平均	45.8	42	47.1	43.1	51.0	45.8
2年	前年度結果 偏差値平均	54.3	51.9	52.1	56.7	54.7	53.3
	本年度結果 偏差値平均	53.6	56.2	52.8	55.4	53.2	54.2
3年	前年度結果 偏差値平均	51.6	50.3	49.5	50.9	51.4	50.8
	本年度結果 偏差値平均	49.5	48.9	48.5	48.6	48.8	48.9
全体	前年度結果 偏差値平均	51.8	50.5	49.6	52.2	52.0	51.0
	本年度結果 偏差値平均	49	47.8	49	48	50.8	48.9

②学習環境分析 Q-U 【1回目】

	1年	2年	3年	全体	
一次支援	人数(人)	8	9	9	27
	割合(%)	36.4%	69.2%	52.9%	50.9%
二次支援	人数(人)	12	4	4	20
	割合(%)	54.5%	30.8%	23.5%	37.8%
三次支援	人数(人)	2	0	4	6
	割合(%)	9.1%	0.0%	23.5%	11.3%
学習意欲	学年(点)	18.7	17.9	15.9	17.5
	全国(点)	17.3	17.3	17.3	17.3
	108.1%	103.5%	91.9%	101.2%	

③全国学力・学習状況調査 正答率平均

教科	国語	数学	英語
前年度結果 (対照比)	64 (91)	45 (92)	45 (105)
本年度結果 (対照比)	60 (103)	51 (98)	/

④学習環境分析 Q-U 【2回目】

	1年	2年	3年	全体	
一次支援	人数(人)	8	9	9	27
	割合(%)	38.1	69.2	52.9	51.9
二次支援	人数(人)	11	4	4	19
	割合(%)	52.4	3.8	23.5	36.5
三次支援	人数(人)	2	0	4	6
	割合(%)	9.5	0	23.5	11.5
学習意欲	学年(点)	17	16.1	14.6	15.9
	全国(点)	15.3	15.3	15.3	15.3
	111.1%	105.2%	95.4%	103.9%	

2 令和5年度について

①調査から明らかになった課題

<p>【年度当初の学力について】(NRTをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語では、2年生の「要点をとらえ内容を解釈する」(56.6%)、3年生の「文章を整え感想や意見を伝え合う」(35.6%)で課題が見られた。 ●社会では、1年生の「民主主義と政治のしくみ」(53.1%)、2年生の「歴史の流れと時代区分」(36.8%)で課題が見られた。 ●数学では、1年生の「起こり得る場合」(42.9%)、2年生の「多数回の試行による確率」(55.3%)、3年生の「平行線や多角形の角の性質」(41.2%)で課題が見られた。 ●理科では、2年生の「動物のなかま」(55.3%)、3年生の化学変化と物質の質量(44.3%)で課題が見られた。 ●英語では、3年生の「長文の概要や要点を読み取る」(40%)で課題が見られた。 	<p>【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語では、「観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える」(40.0%)、「読み手の立場に立って、文章を整える」(30.0%)で課題が見られた。 ●数学では、「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見出し説明する」(10.0%)で課題が見られた。 ●英語では、「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く」(0%)で課題が見られた。
<p>【学級・学年集団について】(1回目のQ-Uをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少人数の1学級を除く2学級はどちらも、満足群と不満足群が大きく分離していると想定される。 ●3次支援を必要とする生徒が全学級平均2名いる。 ●学習意欲が全国比よりも低い学級が1学級ある。 	<p>【学級・学年集団について】(2回目のQ-Uをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少人数の1学級を除き、残りの2学級はそれぞれ「親和的なまとまりのある集団」と「荒れの見られる集団」と判定された。 ●一次支援の割合が1回目より8.7%高くなったが、同時に三次支援の割合も5.4%高くなった。 ●学習意欲は全体では全国比と同じ数値であったが、2年生が他の学年よりも低かった。(全国比-1.6)

②課題改善に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通じた学力・学習意欲の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教諭が思考スキル・シンキングツール、ICTを活用した授業を実施し、生徒が主体的に自分の考えを整理・分析する力を身につけ、思考力を育成する。 ○全教諭が「問いの解決」を意識した授業実践を行い、学習意欲の向上を目指す。 	<p>①NRTとQUの結果分析と改善計画の検討(教科、学年で)</p> <p>②①を受けて、年間スケジュールの計画と全体共有</p> <p>③思考スキル・シンキングツールの活用を軸とした授業づくり、校内研修の実施。</p> <p>④NRTの課題から、アシストシートや類似問題を活用した取組の実施と結果の検証。</p> <p>⑤基礎基本の徹底。小テスト、単元テスト等、個に応じた指導の実施。</p>	<p>①6月</p> <p>②7～8月</p> <p>③年間計画に沿って実施</p> <p>④2学期～3学期</p> <p>⑤年間を通じて実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U2回目の学習意欲の数値の向上。(全学級1回目以上) ・アシストシートや類似問題の正答率を60%以上。 ・定期試験等での、知識・技能問題の正答率50%(C層)
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全学級において、目標を持って意欲的に取り組める機会をつくる。 ●全学級で一生懸命行動する生徒を認め、安心して表現できるように気づかせる。 ●全学級で自己肯定感を高め、仲間の大切さを実感できる機会をつくる。 	<p>①Q-U1回目の結果の分析と全体での共有</p> <p>②縦割り班を活用し、生徒主体の行事・体験活動の実施(郷土芸能、群読、委員会活動等)</p> <p>③気になる生徒についての状況や関わり方を生徒指導委員会や教育相談委員会等、全教職員で共有。</p> <p>④担任との面談。</p> <p>⑤Q-U2回目の結果の分析と全体での共有</p>	<p>①6月</p> <p>②通年</p> <p>③日頃の連携、生徒指導委員会・教育相談委員会(月1回ずつ)</p> <p>④学期に1回</p> <p>⑤3学期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U2回目の結果において、一次支援の数値向上。(全学級1回目以上) ・学校評価アンケート「自分の良さは周りから認められていると思う」の肯定的評価75%

3 令和6年度について

①調査から明らかになった課題

<p>【学力調査について】(NRTをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語や英語の「書くこと」「思考・判断・表現」に課題がある。 ●理科や社会において、基礎的な「知識・技能」に課題がある。 ●数学において「図形」分野に課題があり、「思考・判断・表現」にも課題がある。(全国学力・学習状況調査をうけて) ●数学の「データの活用」に課題がある。 ●数学の「数学的知識を使って筋道を立てて説明する力」に課題がある。 ●国語の「資料を読み取り、自分の考えをわかりやすく伝える力」に課題がある。 ●国語と数学の「説明する問題」において、共通して特定の無答の生徒がいる。 	<p>【学級集団について】(1回目のQ-Uをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3年生は、昨年度の結果と比較して一次支援の生徒が4人増えたが、三次支援の生徒は減っていない。 ●1年生の一次支援の生徒が少ない。 ●学習意欲において、3年生の学習意欲が他学年より低い。(全国学力・学習状況調査をうけて) ●「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的回答が全国比-27.0ポイント。(2回目のQ-Uをうけて) ●3年生は、学習意欲が1回目は全国平均の91.9%であったが2回目は95.4%と微増している。 ●学習意欲については、1、2年生も同様の結果であり、取組の成果が出ている。
--	---

②課題改善に向けた学校組織全体の重点取組等

重点取組上記課題を踏まえたもの	具体的方策(継続して取り組めるもの)	検証指標及び時期
<p>【学力向上について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまった文章を書くこと ・情報と情報との関連付け 	<p>①全学年全教科等でのR80の実施(必須)</p> <p>②思考シンキング・ツールの活用</p> <p>③知識・技能の定着(モジュール学習)</p> <p>④学習の手引きを活用した個別最適な学びへのチャレンジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実力テストにおいて全国平均以上の生徒の割合が55%以上。 ○生徒アンケートの「思考ツールやR80を活用し思考力が高まった」の項目において肯定的評価70%以上。 ○教職員アンケートの「思考ツールやR80を活用し思考力が高めることができた」の項目において肯定的評価70%以上。
<p>【学級・学習集団づくりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が主体の絆づくり ・安心できる居場所づくり 	<p>①Q-U1回目の結果の分析と共有</p> <p>②担任と生徒との面談</p> <p>③気になる生徒についての全体共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U2回目の三次支援の生徒の減少。 ・Q-U2回目の3年生の学習意欲の向上(1回目より+1.5) ・生徒アンケートの「自分には良いところがある」の項目において肯定的評価70%以上。